



笹山 幸嗣

MCo
代表取締役

経済同友会 つながる▶▶

リレートーク #221



中村 悟

M&Aキャピタルパートナーズ
取締役社長

思考は現実化する

『思考は現実化する』。積水ハウスの営業マン時代に、長崎の母が贈ってくれた本の題名(ナポレオン・ヒル著)だ。その時は、何度か読んでいい本だとは思ったが、自分の一部になることはなかった。

2005年に、資本金300万円、常勤は私一人という状態で「M&Aキャピタルパートナーズ」はスタートを切った。資金も無く、月5万円で知り合いのオフィスの机を一つ借りて、アポイント以外はその机に通う日々を送った。

事業承継・買収検討の話を、実績のない相手にはできないのだろう。悲しいくらいまったく信用されなかった。

地道な営業と勉強を積み重ね、ようやく信頼と専門家の協力の下、仕事になっていく。すぐに金融キャリアの採用を進めるも、資金繰りの悪化で二度の倒産危機。金融キャリアは全員他社に転職してしまった。

「あと1、2カ月で給料も家賃も払えなくなる。自己破産か……」。街を見ても、家に帰り妻の顔を見ても、資金繰りのことがぐるぐると頭の中を回り続ける。

ただ、不思議と落ち込むことはなかった。「社長はこんな状況でも明るいですね」と驚かれたが、無理をしていたわけではない。

創業して間もないころから続けている習慣が、冒頭の『思考は現実化する』を毎朝出勤しながら読み続けることだ。今でも毎日、要約した数枚を持ち歩き、出勤前に読み返している。

「はっきりとした願望や目標を持ち、その価値ある願望や目標を達成するために燃えるような意欲を持つこと。これこそが、あらゆる成功の出発点だ」

本来自分はそんなに強い人間でもリーダー気質でもないが、この本に出会い、自分の一部としたことで「夢・目標は現実化する」と信じ、行動し続ける強さを持つことができた。

東証マザーズ上場、東証一部への市場変更と、夢の実現に向けて最高の流れに乗れた。わが社が増えていく実力ある社員と共に、夢・目標の実現を誓う日々を送っている。

「思考は現実化する」。そう信じきって世界を見ると本当に楽しく、ワクワクとキラキラで輝いている。社員にも一人娘にも親戚の子どもにも、この本への感謝と素晴らしさを伝えたいと強く思っている。

▶▶ 次回リレートーク

湯川 智子

サピエント
取締役社長